



明日を拓く

学校報

令和元年 6月26日

No.18

美郷町立美郷中学校

■大会報告会…完全燃焼♡納得♡残念♡悔恨◆



栄叶学年にとっては最後の郡市総体が終わり、6月25日（火）朝、大会の報告会を開催しました。各部の主将が前に立ち、それぞれの部員が起立して報告しました。いずれも堂々とした立派な態度の発表でした。そして仲間の素晴らしい健闘を互いに讃え合う清々しい朝のスタートになりました。ありがとう♡お疲れ様でした。

部として、また、個人として、目標達成や県総体出場権獲得、目標突破及ばずなど、悲喜交々の涙と汗が光った2日間でした。それぞれが美郷中学校の代表として真っ向勝負で、粘り強く実力を発揮しました。野球応援団はもとより、各部の控えの選手も懸命の応援は心打つものがありました。保護者、地域の皆様にも、物心両面でのご支援に心から感謝申し上げます。

美郷中生よ、胸を張れ！そして、前をしっかりと見つめてこれからの歩みを踏みだそう♡

詳細は号外をご覧ください。



■「部活動とは」を改めて問い直すことが大切

始業式で「部活動は、勉強の仕方の基本的手順を体で身に付けることができます。」と話しました。振り返ってどうでしょうか。

部活動の意義はほかにもあります。心身を鍛えることや、人と人との関わり方を身に付け、生活を豊かにする術を身に付けること、そして、責任感や連帯意識を行動で示す力を身に付ける

ことなど、枚挙に暇はありません。

学習指導要領には「スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するもの」と定義されています。

技能を磨いて勝利することが活動の励みになることに間違いはありません。学校生活や学習の意欲にもつながります。しかし、最終的に勝者は一人（団体）です。部活動は勝つことのみを目指すのではないということを、この機会に振り返ってみてください。

この仲間と共に励まし合って努力した日々から得たものは何だったのか、しっかりと自分の言葉にしてほしいと思います。

まだまだ、県総体、東北、全国につながっている人たちも、新たに駅伝に力を注いでみようとする人たちも、この機会に立ち止まって、再出発してください。

■6月30日（日）PTA講演会、学年の活動♡

当日は休日でご多用にもかかわらず、たくさんの方から参加予定のお知らせをいただいております。ありがとうございます。

講演会講師は既にご案内のとおり、秋田市出身の極地冒険家、阿部雅龍氏です。阿部氏については、昨今のテレビ番組等でも取り上げられているとおり、徒歩や自転車、いかだなど、全て自力（人力）単独による極地到達（踏破）で有名な方で、多忙極まる中、本校のために時間を割いてくださいました。

演題は「一度きりの人生 一好きを生きる」と予定しており、阿部氏の生き方の一端から生徒も保護者も明日への元気を頂けるものと、大変楽しみにしているところです。皆さんこそって参集くださるよう、重ねてご案内願ひ申し上げます。

■明日、今年度前期中間テスト！準備はOK？

郡市総体の余韻に浸る間もなく、生徒には厳しい日程ですが、郡市総体前から各学年、学級で計画的な学習を指導してまいりました。1年生にとっては中学校初の定期考査です。日々の積み重ねが実力発揮につながります。部活動で学んだことそのものです。美郷中生頑張れ♡